

宇美町立宇美中学校

「部活動地域展開という荒波の中で」

校長 河野 徹

暑い夏が今年もやってきました。夏といえはやはり中体連。引退をかけて子どもたちが一生懸命に努力する姿を応援するのは、教師冥利に尽きます。今年の宇美中は、団体種目で女子バレー部と男子ソフトテニス部が筑前地区大会を勝ち上がり、県大会に出場しました。昔と違って、今はクラブチームの参加も増え、しかもそのクラブチームが、糟屋区大会から参加する時代です。そんな中で、地元の中学生だけで構成するチームが県大会まで出場したことは、とても価値高いものだと感じています。

私も中学教師になり、初めてソフトテニス部の顧問として、部活動の素晴らしさを実感し、のめり込んできたわけですが、今、部活動は重大な転換期を迎えています。特に課題として大きく3つあると感じています。

一つは、子どもたちの意識です。昔は部活動加入率が7割以上ありましたが、本校では5割を少し超える程度です。部活動よりクラブチームを選ぶという生徒も年々増えています。その理由は、「練習時間の短さ」「指導者の問題」などさまざまですが、学校として部活動の活気がなくなるのは、とても寂しい思いがします。

二つは、教師の関わりです。本校は先生方の協力により、全員が顧問になってもらっていますが、部活動の時間が短く、情熱を注ぐこ

とが難しくなっているのが現状です。今年の夏休みは学校閉庁日が八月八日から十八日までの十一日間設定され、その間部活動が実施されませんでした。正月も盆もなく部活動に夢中になっていた私としては、少し物足りなさを感じる日々です。その間、クラブチームは毎日のように練習をしていました。先生方も部活動に情熱を注ぐように、練習時間が限られているので、難しい現状があります。

三つは、各市町による地域展開に差がある、ということ です。宇美町はNPO法人の協力により、地域展開が今後進む予定です。令和9年度より、野球部、サッカー部、剣道部、吹奏楽部の活動が、町の（認定）地域クラブになる予定です。指導者は、地域の方とともに教員が兼職・兼業を申請して行うこととなっています。しかしすべてが初めてのことで課題が山積しています。また、各市町により指導者への待遇の違いがあることも大きな課題となっています。

そのような中、今年度、本校の重点施策の中に「部活動の強化」を掲げました。具体的には、部長会を定期的に実施し、生徒による自治的な活動を多く取り入れ、部活動の活性化をめざします。これから、地域展開という大きな荒波を迎える部活動ですが、不易の部分大切に、新しい波に乗っていけるよう尽力したいと思っています。

